

# つながり

大上好久

令和6年2月15日発行 Tel:29-5210 Fax:21-3456



## 年月をかけ 手間暇かけた和紙づくりで 地域づくり!

中学校学習指導要領(平成29年7月告示)解説 総合的な学習の時間編の中で、「外部との連携の構築(第9章第5節)」を取り上げています。その中で、「町づくりや地域活性化につながった活動や取組、生徒が地域の伝統や文化を守り・受け継いだ活動や取組、地域の商店街の再生につながった活動や取組などは、学校を地域に開くことにもつながり、保護者や地域との信頼関係を築く大きな要因になると共に、学校を核として地域社会も活性化していく『次世代の学校・地域』を創生していくことにもつながる。」と述べています。

本号では、地域の伝統である「和紙」を生かした卒業証書づくりに、長年にわたって取り組んでいる美和中学校を紹介します。



### 和紙を使った卒業証書づくり 【美和中】

◎ 卒業証書(和紙)の原料となるトロロアオイや三椏(ミツマタ)の栽培・収穫から紙すきに至るまでの全工程を、地域住民でつくる“長谷みどりの会”の方々の指導の下、3年間かけて行っている取組です。

#### 【1年生の時 …原料となるトロロアオイと三椏の栽培・収穫】



三椏は、子供の目の届く中学校の裏山や敷地内に植樹され、1年生は初めての収穫体験でした。



今年の2年生は、特に明るいですね。校歌や流行りの歌を歌いながら、粘り強く黒皮を剥ぎ取っています。<地域住民>



#### 【2年生の時 …皮、黒皮剥き】

今年でこの活動は9年目です。原料が収穫できるまで最低4~5年はかかります。長谷みどりの会も学校も、子供の喜ぶ顔が見たくて頑張っています。

<地域住民>



3年生の卒業証書になるんだな。来年は自分たちの番だな。<子供>

三椏は4~5時間かけて蒸してもらいました。気を付けることやコツを教えてもらいやっと全部剥けました。<子供>

乾燥させた皮をアルカリで煮て水洗してもらいました。小さな異物は、頑張って、ピンセットでとりました。<子供>



#### 【3年生になって …紙すきによる卒業証書づくり】



水が冷たいな、和紙はドロドロして重たいな。でも、色々教えてもらって、楽しかったし、嬉しかったな。<子供>



長谷みどりの会には大変お世話になっています。生徒は美和の伝統的な和紙づくりを体験し、自分だけの卒業証書を手にする喜びを味わっています。<山田 校長>



旧長谷小学校跡地で行われた皮剥ぎ、紙すき作業、「地域で子供の声が聞けると、元気ができます。」という地域住民の言葉が心に残りました。長い期間や時間を費やしての活動、地域にとっても学校にとっても、無理のない持続可能な活動にするための苦労や工夫がたくさんありました。